



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 増田製粉所  
コード番号 2008 URL <http://www.masufun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武政 亮佐

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岩永 和弘

TEL 078-681-6701

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,915	△7.4	335	9.0	333	10.2	125	3.4
22年3月期第2四半期	5,308	△7.8	307	△29.2	302	△28.6	120	△35.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	13.71	—
22年3月期第2四半期	13.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第2四半期	7,994	—	3,305	—	36.0	315.72
22年3月期	7,503	—	3,202	—	37.6	309.24

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,880百万円 22年3月期 2,821百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	6.00	6.00
23年3月期	—	—	—	6.00	6.00
23年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△4.1	430	△12.5	420	△12.6	230	△1.4	24.98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他 (詳細は、[添付資料]P. 3「その他の情報」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 10,000,000株 22年3月期 10,000,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 876,800株 22年3月期 876,641株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 9,123,223株 22年3月期2Q 9,245,849株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において合理的であると判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。また、業績の予想の前提となる仮定等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(第2四半期連結会計期間) .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策の効果もあって改善が見え始めておりましたが、雇用情勢や個人所得が好転するには至らず、消費者の先行き不透明感から節約志向が依然として高く、経営環境は非常に厳しいものとなりました。

このような環境下、当社グループは企業体質強化に努め、合理化、効率化を強力に推進し、当社グループの販売網や製品特性を活かした販路拡大の促進など、業績の向上に努力いたしますとともに、業務提携先である日東富士製粉株式会社とのシナジー効果の創出に注力いたしました。

一方で外国産小麦の政府売渡価格が平成22年4月から平均5%引き下げられたことに伴い、5月10日出荷分から業務用小麦粉販売価格の改定をいたしました。

この結果、当第2四半期の売上高は49億1千5百万円（前年同期比3億9千3百万円減、7.4%減）となりました。営業利益は3億3千5百万円（前年同期比2千7百万円増、9.0%増）、経常利益は3億3千3百万円（前年同期比3千万円増、10.2%増）、当第2四半期純利益は1億2千5百万円（前年同期比4百万円増、3.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①製粉

当社グループの主要事業である製粉事業におきましては、価格改定とふすま市況の下落の影響もあり、売上高は25億6千7百万円（前年同期比4億4千2百万円減、14.7%減）と減少いたしました。合理化、効率化を強力に推進し、営業利益は2億7千6百万円（前年同期比3千8百万円増、15.9%増）となりました。

#### ②食品

食品事業におきましては、夏季の記録的な猛暑により、売上高は21億7千1百万円（前年同期比4千1百万円増、2.0%増）と増加しましたが、節約志向、季初の天候不順の影響により、営業利益は1億7千万円（前年同期比7百万円減、4.3%減）となりました。

#### ③畜産

畜産事業におきましては、品質本位の黒毛和牛の高級肉供給に努めましたが、景気低迷の影響による食肉市況の軟調と飼料高の影響で売上高は1億3千6百万円（前年同期比微減）、営業損失は1千8百万円（前年同期も5百万円の損失）となりました。

#### ④その他

その他の事業におきましては、売上高は4千万円（前年同期比8百万円増、25.9%増）、営業利益は微増となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期末における総資産は79億9千4百万円（前期末比4億9千万円増）となりました。

流動資産は41億3千7百万円（前期末比6億9千6百万円増）となりました。これは主として原材料及び貯蔵品5億3千8百万円増、現金及び預金2億6千8百万円増によるものであります。

固定資産は38億5千6百万円（前期末比2億6百万円減）となりました。これは主として有形固定資産の減価償却によるものであります。

当第2四半期末における負債総額は、46億8千8百万円（前期末比3億8千7百万円増）となりました。これは主として支払手形及び買掛金3億5千5百万円増によるものであります。

当第2四半期末の純資産は、33億5百万円（前期末比1億3百万円増）となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前期末に比べ2億6千8百万円増加し、8億3千2百万円となりました。

当第2四半期末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は、4億2千6百万円（前年同期は3億1千6百万円の獲得）となりました。これは主として仕入債務の増加4億円によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、9千8百万円（前年同期は1億8千万円の使用）となりました。これは主として有形固定資産の取得9千4百万円によるものであります。

### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、5千9百万円（前年同期は4億3百万円の獲得）となりました。これは主として配当金支払5千6百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月10日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 2. 税金費用の計算

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計処理の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	832,155	563,675
受取手形及び売掛金	1,094,986	909,464
商品及び製品	1,285,369	1,531,902
原材料及び貯蔵品	829,182	291,003
繰延税金資産	54,739	49,318
その他	48,116	107,016
貸倒引当金	△6,872	△11,370
流動資産合計	4,137,678	3,441,010
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,564,117	1,622,092
機械装置及び運搬具（純額）	1,216,516	1,309,714
土地	475,104	475,104
その他（純額）	66,931	71,992
有形固定資産合計	3,322,670	3,478,904
無形固定資産		
その他	7,341	8,676
無形固定資産合計	7,341	8,676
投資その他の資産		
投資有価証券	324,762	362,570
長期貸付金	7,105	2,760
繰延税金資産	17,512	8,401
その他	188,194	207,459
貸倒引当金	△10,926	△6,066
投資その他の資産合計	526,648	575,126
固定資産合計	3,856,660	4,062,706
資産合計	7,994,339	7,503,717

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	518,480	163,223
短期借入金	3,303,004	3,249,054
未払法人税等	141,244	67,646
役員賞与引当金	2,500	5,000
その他	282,706	299,847
流動負債合計	4,247,935	3,784,772
固定負債		
長期借入金	272,408	328,910
退職給付引当金	57,436	54,600
繰延税金負債	—	5,983
その他	110,565	126,609
固定負債合計	440,410	516,103
負債合計	4,688,345	4,300,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	67,638	67,638
利益剰余金	2,459,906	2,389,531
自己株式	△202,381	△202,348
株主資本合計	2,825,162	2,754,821
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55,234	66,496
評価・換算差額等合計	55,234	66,496
少数株主持分	425,595	381,523
純資産合計	3,305,993	3,202,841
負債純資産合計	7,994,339	7,503,717

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	5,308,906	4,915,361
売上原価	4,360,373	3,950,167
売上総利益	948,532	965,193
販売費及び一般管理費	641,226	630,168
営業利益	307,305	335,024
営業外収益		
受取利息	66	111
受取配当金	4,317	5,435
助成金収入	2,911	2,003
その他	4,821	5,532
営業外収益合計	12,116	13,082
営業外費用		
支払利息	16,656	12,902
その他	439	2,051
営業外費用合計	17,095	14,954
経常利益	302,326	333,153
特別利益		
投資有価証券売却益	9,655	—
貸倒引当金戻入額	598	1,145
特別利益合計	10,253	1,145
特別損失		
固定資産除却損	27,859	19,447
投資有価証券評価損	—	18,009
特別損失合計	27,859	37,457
税金等調整前四半期純利益	284,720	296,841
法人税等	125,471	124,267
少数株主損益調整前四半期純利益	—	172,574
少数株主利益	38,270	47,459
四半期純利益	120,977	125,114



(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	2,485,071	2,397,723
売上原価	2,104,280	1,969,933
売上総利益	380,790	427,790
販売費及び一般管理費	321,412	313,817
営業利益	59,378	113,972
営業外収益		
受取利息	51	66
受取配当金	17	29
助成金収入	2,327	2,003
業務受託料	2,080	—
その他	1,345	2,130
営業外収益合計	5,821	4,229
営業外費用		
支払利息	8,236	6,452
その他	328	337
営業外費用合計	8,564	6,790
経常利益	56,634	111,412
特別利益		
投資有価証券売却益	9,655	—
貸倒引当金戻入額	5,749	4,595
特別利益合計	15,404	4,595
特別損失		
固定資産除却損	17,312	19,112
特別損失合計	17,312	19,112
税金等調整前四半期純利益	54,725	96,895
法人税等	23,743	41,633
少数株主損益調整前四半期純利益	—	55,262
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,353	14,817
四半期純利益	35,335	40,444

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	284,720	296,841
減価償却費	196,790	203,266
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,273	361
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	705	2,836
受取利息及び受取配当金	△4,383	△5,547
支払利息	16,656	12,902
有形固定資産除却損	27,859	19,447
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,655	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	18,009
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,537	△12,234
売上債権の増減額 (△は増加)	△70,523	△185,521
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,673	△291,646
仕入債務の増減額 (△は減少)	51,486	400,217
その他	5,382	37,891
小計	475,903	496,823
利息及び配当金の受取額	4,383	5,547
利息の支払額	△16,871	△13,215
法人税等の支払額	△146,707	△62,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,707	426,243
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△214,875	△94,926
有形固定資産の除却による支出	—	△4,940
無形固定資産の取得による支出	△7,309	—
投資有価証券の取得による支出	△431	△624
投資有価証券の売却による収入	41,590	—
貸付金の回収による収入	515	1,832
その他	—	138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△180,511	△98,519
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	140,000	90,000
長期借入れによる収入	400,000	—
長期借入金の返済による支出	△78,364	△92,552
自己株式の取得による支出	△175	△33
配当金の支払額	△54,805	△54,158
少数株主への配当金の支払額	△3,384	△2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	403,270	△59,243
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	539,466	268,479
現金及び現金同等物の期首残高	493,122	563,675
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,032,588	832,155

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	製粉事業 (千円)	食品事業 (千円)	畜産事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	3,010,392	2,129,572	136,882	32,059	5,308,906	—	5,308,906
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	95,560	8,148	—	41	103,750	(103,750)	—
計	3,105,952	2,137,720	136,882	32,100	5,412,656	(103,750)	5,308,906
営業利益又は営業損失(△)	238,633	178,125	△5,704	157	411,212	(103,906)	307,305

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する支店及び連結子会社がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は製品別の事業から構成されており、「製粉事業」、「食品事業」及び「畜産事業」の3つを報告セグメントとしております。

「製粉事業」は、小麦粉、ふすま、プレミックス粉を生産しております。「食品事業」は乾麺(うどん、素麺、冷麦、そば等)を生産しております。「畜産事業」は黒毛和牛を中心とした肉牛を肥育しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	製粉	食品	畜産	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,567,405	2,171,334	136,253	4,874,993	40,368	4,915,361	—	4,915,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,284	8,074	—	88,358	50	88,408	△88,408	—
計	2,647,690	2,179,408	136,253	4,963,351	40,418	5,003,770	△88,408	4,915,361
セグメント利益又は セグメント損失(△)	276,684	170,421	△18,951	428,154	243	428,397	△93,373	335,024

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、包装資材等の販売を行っております。

2. セグメント利益の調整額△93,373千円には、セグメント間取引消去17,610千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,983千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。